



関の氏神  
亀山八幡宮社務所  
下関市中之町1番1号  
郵便番号 750-0004  
電話 083-231-1323  
FAX 083-232-5365  
発行 平成24年2月1日  
印刷 藤井印刷株式会社



ご挨拶

宮司 竹中 恒彦

ご挨拶

「兎走鳥飛」と時の経つのは早く、はや節分を迎えるころとなりました。

昨年は氏子崇敬者の皆様には、ひとかたならぬお力添えを賜りおかげをもちまして、氏神さまの春夏秋冬の祭典諸行事がつつがなく斎了しましたことは、誠に有難く厚く御礼申し上げます。本年も何卒ご芳情を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて今年のお正月はおだやかな天気で、暖かくのどかな年明けでした。境内から関門海峡を眺めますと、新春の太陽の光が海峡に反射して白くまばゆく輝いています。この光景は神神しくも美しく、世の平らぎを祝福しているかのようです。今年こそは四海波静かな平穏な年でありますようとに念じた次第です。

今年は壬辰の年。本草綱目（四百年前の中国の本）によりますと、竜は三停九似といつて頭は駄駄に似て、角は鹿、眼は鬼、耳は牛、体は蛇、腹は蛟（蛇に似た想像上の動物）、鱗は鯉、爪は鷹、掌は虎に似ています。また、口には長い髯があり、下あごに宝珠があり、のどの下には逆さに付いた鱗（逆鱗）。これに触ると竜は激怒します）があります。竜は天上、水中、地底に住み、時には勢い勇ましく動いて雲をおこし雨を降らせるといいます。

また、竜は古くから変幻自在で靈力をもつ瑞兆の靈獸と伝えられています。今年は昇り竜よろしく、水を得た竜の如く勢いのある明るい年が期待されます。  
本年が良い年でありますよう、皆さまのご平安をお祈り申し上げます。



親と子の為に

### 神様の子供

神様は手を合わせておがむ心から始まります。皆さんは神様の子供です。この世の中をつくられた神様が皆さんのお父さん、お母さんを通して皆さんをおつくりになります。

見えるもの、聞こえるもの、動くもの、小さな石ころ、野に咲く草花—地球をはじめ、うちゅうぜんたいを神様がおつくりになつたのです。その中でいちばんくろうされたのが人間です。赤ちゃんが生まれて初めてお宮参りをするのも、神様にごほうこくとおれいのためです。神様は正しくやさしい心に、にんげんをおつくりになりました。

花が美しく、小さいきものが、かわいらしくかんじられるのもそのためです。神様がおつくりになつた「もの」にはみんな心があります。神様をしんこうして行くと、何とでもお

話しが出来たり、その心がわかるのはそのためです。

せつかくしあわせにつくつていただいた人間が、時にふこうになります。それは一時神様の心がなくなつた時です。

神様はわたくしたちのために、何でも聞いていただけますが、正しくない心は聞いていただけません。人間には限りのないしあわせがあります。

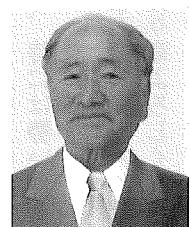
そのため神様にお祈りをつづけねばなりません。毎日神様をおがむことや、お祭りをすることもそのためです。

氏神さまは、その中でも一番私たちを守つていただける神様です。神様をおがむ心は、人がしあわせになることです。人がしあわせになることは世の中がへいわになります。皆さんは神様の子供です。

神様は皆さんの心を見ておられ、皆さんの願いを聞いていただけます。

神様は手を合わせて拝む心から始まります。

奥野二男さんの逝去を悼む



当宮責任役  
員奥野三男  
総代が昨年

八月九日に逝去されました。享年八十八歳。

氏は終戦直後二十三歳のころ、関門民芸会に入会され、以来六

十数年間、神社のお世話をされました。

先代宮司とは刎頸の仲で、戦禍により灰燼に帰した社殿の復興、境内整備、儀式殿の建立、諸祭礼行事や亀山能の再興、林間学校の開設などに心血を注がれることです。皆さんは神様の子供である人でした。

上記「神様の子供」は奥野総代様が昭和五十年ころ、世の中を良くするには幼少時代の教育やしつけが大切だと熟慮されて書かれたものです。

# 山 氏子だより

馬関名物

## 風あげ大会



見島の鬼ようず

日 時

2月3日(金)

受付 午後2時~4時  
大会 午後3時~5時

場 所

唐戸魚市場屋上

賞

意匠賞・滯空賞  
(大人の部・子供の部)巨大な見島の鬼ようず、ユニークなふく風など大小様々な風が海峡の空にあがります。どなたでも参加できます。  
(参加無料)

開運厄除け祈願にあわせ、鬼やらい(鬼の舞)の神事が斎行されます。

午後六時

### 本殿祭・鬼の舞

(前売り一八〇円)  
金の玉・銀の玉ほか  
空クジなし

「鬼は外!鬼は外!」  
春を迎える立春前日、参拝の方々の  
かけ声が境内に響き渡る節分祭に、皆  
さまおそいでご参拝下さい。

## 節 分 祭 2月3日(金)



### 玉替式(開運福引大会)

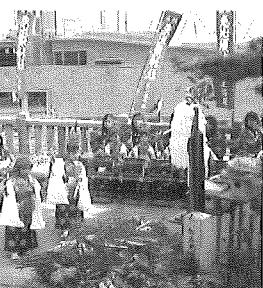
午後三~八時  
当日券二〇〇円

### 豆まき式(餅まき)

一回目 午後六時半  
二回目 午後七時半

## 日 えひす祭

日 時 三月十日(土) 午後3時~



### どんど焼き

午前八時~午後八時  
旧年のお札・お守り、新年の  
お飾りを焼納します。

### 鬼笑の舞

当日夕刻唐戸近辺を鬼笑会  
(氏子青年会)扮する鬼・お多  
福が巡回します。

場所 境内・恵比須神社前  
(雨天・亀山八幡宮本社)  
神事の中で、稚児の姿をした園児6名が、笛・太鼓にあわせて舞う神楽「えびす舞」が奉納されます。  
参列者へは鯛や大判・お札などで飾られた福袋を授与。また祭典前に唐戸商店街で稚児行列(雨天中止)を行います。

家内安全・商売繁盛・大漁満足

## 奉 納

このたび左記の通りご奉納賜わりました。  
ご芳志ありがたく厚く御礼申し上げます

金貳拾萬圓 林間学校協賛として  
貴船町 竹内孝子様

金壹百萬圓 本殿修造費として  
宮崎市 佐藤美春様

金五拾萬圓 平成二十三年七月十一日  
秋田市 青柳芳子様

金五拾萬圓 平成二十三年八月四日  
平成二十三年八月五日

金 上新地町 東良久様  
五拾萬圓 本殿修造費として  
平成二十三年十一月十日

氏神様のご神前で 莊厳な結婚式と  
和やかな ご披露宴を…

## 亀山八幡宮儀式殿

TEL 083(233)1986 FAX 083(233)1835

新年会・忘年会・同窓会等各種イベントにも  
ご利用いただけます。

亀山 氏子だより

(4) 平成24年2月1日

御神供米奉獻

(敬称略・順不同)

昨年末に御奉献いたしました  
御神供米・御初穂料を元旦に御神  
前へお供えし、皆様方の家内安全  
商売繁盛を御祈念いたしました。

大西商事  
菊谷茂吉商店  
桑原章  
下関海陸運送  
山口合同ガス  
熊谷彰子  
**二儀**  
湖月  
紺箭銃砲火薬  
サンデン交通  
シモセン  
西中國信用金庫  
西日本液化ガス  
藤井商店  
平越商店  
大和通産  
吉田水産

青柳芳子　有斐図書館研究会  
一儀　　正本　　印刷　　刷子　　陣　　田　　岡　　村　　戸　　アス　　ス　　ミ　　ア  
　　江　　魚　　岩　　菊　　印　　刷　　金　　田　　榮　　子　　陣　　陳　　陣　　陳　　陣  
　　田　　正　　本　　正　　本　　正　　本　　正　　本　　正　　本　　正　　本　　正　　本　　正　　本  
　　沖　　田　　法　　律　　事　　務　　所　　事　　務　　所　　事　　務　　所　　事　　務　　所　　事　　務　　所  
　　市　　場　　業　　者　　連　　合　　會　　會　　會　　會　　會　　會　　會　　會　　會　　會　　會　　會　　會  
　　小　　山　　石　　材　　材　　材　　材　　材　　材　　材　　材　　材　　材　　材　　材　　材　　材　　材  
　　佐　　藤　　秀　　子　　子　　子　　子　　子　　子　　子　　子　　子　　子　　子　　子　　子　　子  
　　島　　医　　院　　院　　院　　院　　院　　院　　院　　院　　院　　院　　院　　院　　院　　院  
　　桑　　リ　　ブ　　唐　　戸　　店　　店　　店　　店　　店　　店　　店　　店　　店　　店　　店　　店  
　　下　　関　　酒　　造　　造　　造　　造　　造　　造　　造　　造　　造　　造　　造　　造　　造　　造  
　　下　　関　　酒　　造　　造　　造　　造　　造　　造　　造　　造　　造　　造　　造　　造　　造　　造  
　　下　　関　　商　　業　　開　　發　　發　　發　　發　　發　　發　　發　　發　　發　　發　　發　　發  
　　新　　ホ　　レ　　ム　　ム　　ム　　ム　　ム　　ム　　ム　　ム　　ム　　ム　　ム　　ム　　ム　　ム  
　　泰　　平　　ビ　　ル　　商　　業　　開　　發　　發　　發　　發　　發　　發　　發　　發　　發　　發  
　　永　　中　　村　　物　　產　　產　　產　　產　　產　　產　　產　　產　　產　　產　　產　　產　　產  
　　日本通運　下関支店　新平ビル　永中村物産　泰平ビル　永中村物産　新平ビル　泰平ビル  
　　野　　口　　工　　務　　店　　業　　務　　務　　務　　務　　務　　務　　務　　務　　務　　務　　務　　務

内魚岩入江町自治会  
田城忠敏  
義重子  
井上整形外科クリニック  
伊豆元  
井上建設  
伊豆元  
井上建  
イソベ写真店  
いとうや文具店  
井上達  
石森敦正  
石本正務  
辺商務  
田武商務  
池酒商務  
有吉酒商務  
尼昭男  
油吉昭男  
安酒商務  
安酒商務  
上吉酒商務  
利昭男  
金昭男  
庫酒商務  
大薬局  
輔店

キ  
國 倉 津 静 子  
黒 水 ユ ミ 研  
ケイアンドジェイ  
合 同 青 果  
古 串 屋  
金剛住機下関支店  
西京銀行唐戸支店  
佐々木整形外科  
佐々木板金所  
坂 井 商 店  
酒 井 年 夫  
佐 藤 美 春  
桜 井 洋 治  
サンデン広告  
サンデン旅行  
三 林  
山陽チップ工業  
三和工務店  
シズカコーポレーション  
清水一正  
清水建設下関営業所  
下中建材店  
下関植木  
下関合同花市場  
下関電タクシー  
下関商工會議所  
下関水陸物産  
下関水庫  
下関体育センター  
下関食糧  
下関タクミ

江戸時代中期の寛政十一年（一七七九）鎮座。ご祭神は高龜命（なかがみのみこと）水の神様、倉稻魂命（くらいなみのみこと）の神様）、保食神（食物の神様）です。また正式名は貴布祢神社と称します。

田中町は昔、唐戸湾の入り海で、川の土砂が堆積して川原となりそこに土地や田ができるました。神社地は古い地名を中島といい、昔は川の中の島でした。



## シリーズ町内の神社③

二斗ヅ工モクテキサス出来木材加工所寺崎整形外科天恵堂薬品東洋機工サービス土井六郎東京第一ホテル下関豊島喜代次とらや藤城鳥居静夫・小枝子中川クリニック内藤勝人長岡内科中島謙治中田谷清博田中トヨタ昭治奈良の尾原田憲立町自治会花蘭道司科莫菓製野村寿はぎはら酒店軒社

八畑　野景園  
岬之町自治会 浜田電器商会  
林林林林林林林林  
原原原原原原原原  
川川川川川川川川  
兼商伸産ハ行ル業  
日恒良久昭司  
弘中光貢久  
藤井千代子美奈子  
ふるやしき守石  
の内科クリニック  
福島の里  
ふなこし  
古谷悟  
ふるやしき  
古屋忠久  
ページ・ワン  
帆足医院  
前田越伊佐子  
前田海産平  
前田米穀松  
前堀啓子  
増谷吳服店  
松井外科整形

大和無線和山中定山中志徒東山野旗幕染工場ユニコントラーメンハウズ龍軒  
秋本光紀子貞夫伊豆元保彦伊藤重光堂薬局イソク鍼灸整骨院  
稻垣時計伸徳正茂安正工倫英千景子雄人子店富場道嗣子子虎子光子  
岩崎田竹村島墨工正博徳直茂安正工倫英千景子雄人子店富場道嗣子子虎子光子  
岡崎田竹村島墨工正博徳直茂安正工倫英千景子雄人子店富場道嗣子子虎子光子  
奥斐野染工正博徳直茂安正工倫英千景子雄人子店富場道嗣子子虎子光子  
嘉室房邦人子雄人子店富場道嗣子子虎子光子  
金ケ江衣裳千景子雄人子店富場道嗣子子虎子光子  
大和無線和山中定山中志徒東山野旗幕染工場ユニコントラーメンハウズ龍軒  
秋本光紀子貞夫伊豆元保彦伊藤重光堂薬局イソク鍼灸整骨院  
稻垣時計伸徳正茂安正工倫英千景子雄人子店富場道嗣子子虎子光子  
岩崎田竹村島墨工正博徳直茂安正工倫英千景子雄人子店富場道嗣子子虎子光子  
岡崎田竹村島墨工正博徳直茂安正工倫英千景子雄人子店富場道嗣子子虎子光子  
奥斐野染工正博徳直茂安正工倫英千景子雄人子店富場道嗣子子虎子光子  
嘉室房邦人子雄人子店富場道嗣子子虎子光子

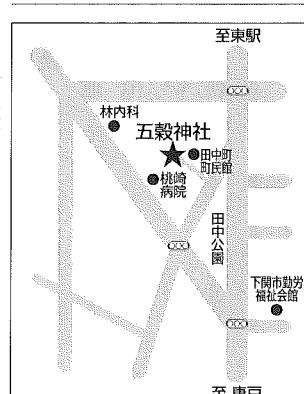
奉 納

例年通り、本年もご奉納いたしました。御芳志ありがとうございます。  
本殿注連縄 本殿注連縄  
もち米 一俵 白米 千里 内目町 榛野八幡宮氏子中 榛野町 榛野正信

豊特急はんがえ写真館 多筒田田立竹之内田代井中中石田代利艶卓元富船一郎則子也敵良子具  
とさき歯科 治歎センターランタカーベシベ漬物  
下関土産センターランタカーベシベ漬物  
大西洋下関酒店  
柴崎國雄院正矯椎脊迫  
小西酒店  
コトウ

元日祭	菖川町	大豆	吉母	もち米	白米	河村	高田	椋野町	椋野町
閏唐戸	中村	二俵		四俵		達也	貞一	椋野町	山本
魚市場		森田					三ヶ本秀伸		
		康資							
		敏明							

中  
道  
唐戸町  
幡生宮の下町  
下関酒造  
観音崎町  
ペーリジ・ワン  
細江町  
魚谷利満  
那田恒雄  
大國旗二流  
菊川町  
長府侍町  
松浦和麿



田の中を流れる田中川は大雨が  
降るとしばしば氾濫し、それを  
鎮めるために水の神様を、そして  
五穀豊穣を祈念して農業の神  
様をお祀りしたと思われます。

また境内には福寿稻荷神社が  
お祀りされ、鳥居の右手には林  
英美子生誕の地碑があります。

一月の初神樂、七月は夏越祭、  
九月には秋の例祭が行われ子供  
みこしが町内を巡行します。

# 山元氏子だより

(6) 平成24年2月1日

## 祭事暦(予定)

## 建国記念の日奉祝下関市民大会

2月5日(日)

## 第16回 亀山八幡宮新春俳句大会



2月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
節分祭・凧あげ大会 新春俳句大会	午前十一時半～午後一時半	午後二時二十分～午後三時二十分																										
針供養祭 恵比須神社ふく祭 (南部町)	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半
建国祭	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	午前十一時半～午後一時半	

**成の日のご案内**

安産祈願・岩田帶清め秋いぬ  
犬の安産にあやかり戌の日が選ばれます  
が都合の良い日に参りされても結構です。

2月 7日(火)  
19日(日)  
3月 2日(金)  
14日(水)  
26日(月)  
4月 7日(土)  
19日(木)  
13日(日)  
25日(金)  
6月 6日(水)  
18日(月)  
30日(土)

毎月1・15日は月次祭  
毎月1日は早起き会  
(1月は15日)

生をお祝いしましょう。  
大会・パレード共にどなたでも参加できま  
す。どうぞお誘い合わせの上、日本の國の誕  
生をお祝いしましょう。

▼出発 午後一時

5月 3日  
11日

五穀祭・八丁浜  
お龜さん顕彰祭  
柔道大会

3月 29日  
11日

福寿稲荷神社祭  
(細江町)  
椋野八幡宮地神祭  
子供すもう大会

5月 29日  
11日

西部地区 厳島神社前(上新地町)  
彦島地区 彦島図書館前広場

5月 3日  
11日

扇塚祭・剣道大会

5月 3日  
11日

大会・パレード共にどなたでも参加できま  
す。どうぞお誘い合わせの上、日本の國の誕  
生をお祝いしましょう。

5月 3日  
11日

神様を拝む作法は二礼二拍手

5月 3日  
11日

礼は深く、床と背中が平行に  
なるようにし、背中と後頭部  
か一直線になるのが理想です。

5月 3日  
11日

二拍手の時は先ず手を合わせ  
ます。世界中のどの宗教でも  
手を合わせる様に、神社でも

きちんと手を合わせるのです。

5月 3日  
11日

手を合わせましょう。

5月 3日  
11日

しかし最近は、いきなり手を  
広げて拍手をされる方が増え  
て来ました。

5月 3日  
11日

先ず手を合わせる心が大切で  
す。

